

ブレーキ

次の項目に注意してください。

- 制動力を効果的に得るために前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使う
- 不必要な急ブレーキ、急なシフトダウンをしない
- ▲ タイヤをロックさせるなど、車体の安定性を損なうおそれがあります。
- ▲ コーナリングの際は、コーナーの手前で減速してください。
- 雨天走行など滑りやすい路面に注意する
- ▲ タイヤがロックしやすく、制動距離が長くなります。
- 連続したブレーキ操作をしない
- ▲ 長い坂や急な坂で繰り返してブレーキをかける
と、ブレーキの温度が上昇して効きが悪くなる
おそれがあります。エンジンブレーキと断続
的なブレーキ操作を併用してください。

■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSは、直進制動時のブレーキのかけすぎによる車輪ロックを制御する装置です。

ABSは、IMU（慣性センサー）からの情報をもとに制御します。

ABSを正常に機能させるため、タイヤは必ず前後輪とも指定タイヤをお使いください。

- 制動距離を短くするためのものではない
- ▲ ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
- 低速（約6 km/h以下）では普通のブレーキと同じ作動になる
- ブレーキ操作時に、レバーやペダルに反動が生じることがある
- ▲ ABSが作動しているときの現象で異状ではありません。反動の強さは状況によって異なります。